

○平成21年度観光関係予算概算要求のポイント

観光立国の実現 **要求額 : 77億円(対前年度比1.21倍)**
(平成20年度予算額 63億円)

【主要事項】

1. 国際競争力の高い魅力ある観光地の形成 6.4億円

内外観光客の宿泊旅行回数・滞在日数の拡大を目指し、二泊三日以上の滞在型観光を促進するため、地方自治体、観光関係団体、農林漁業団体、NPO等の幅広い関係者が一体となった観光圏整備の取組みを総合的に支援する。

あわせて、観光地のさらなる魅力向上のため、観光まちづくりの評価手法等について調査を行う。

2. 観光産業の国際競争力の強化及び観光の振興に寄与する 人材の育成 0.8億円

観光産業の新たなビジネスモデルの構築を支援し、そのノウハウを普及・啓発するため、「観光産業のイノベーションの促進事業」として、客室稼働率の向上や業務の共同化・効率化等に関する実証事業を行う。

また、国際競争力を備えた観光関連産業を担う人材等を育成するため、大学等高等教育機関との連携強化を図るための取組み等を推進する。

3. ビジット・ジャパン・アップグレード・プロジェクト等による国際 観光の振興 45.3億円

2010年までに訪日外国人旅行者数を1000万人にする目標を確実に達成するとともに、ポスト2010を見据え、国際観光振興の更なる展開を図るため、「ビジット・ジャパン・アップグレード・プロジェクト」として、我が国の観光魅力の一層の理解の促進等に取り組むほか、IC乗車券等の国際相互利用化等、旅行者の利便性の増進を図る。

あわせて、国際会議の開催・誘致の推進や、開発途上国における観光客の受入体制強化等に対する支援を行う。

4. 観光旅行の促進のための環境整備 0.8億円

「エコツーリズム」、「産業観光」等のいわゆるニューツーリズムについて、実証実験の実施やデータベースの整備等により、旅行商品化や流通促進を推進する。

また、移動制約者も含め誰もが安心して旅行できる環境づくりや、旅行需要の平準化や休暇取得促進等の課題の解決に資する取組みに関する実証事業等、観光旅行の促進のための環境整備を推進する。